

創業85年のポンプ製造企業で、初めて生え抜き以外で社長に就いた。銀行勤務時代に担当した縁もあり、約10年前に入社。打診を受け「私でいいんですか」という思いだったが、お世話になった恩返しを」と受諾した。

入社後は総務や経営企画部門を担当。「銀行ではなかった貴重な経験」と振り返るのが、アクリルビスト（物言う株主）との対話だ。

数年前、複数の物言う株主と意見交換する窓口になった。彼らが主張したのは資本の効率性。業績好調を大前提に、株主還元重視や利益率の高い事業への集中投資などを提言された。

銀行員としては収益が安定し、融資を滞りなく返済するのが「いい会社」。でも「上場企業はそれだけじゃ駄目だ、と教えてもらった」。以来、常に成長を求める姿勢を肝に銘じる。ポンプとモーターを一体化

帝国電機製作所

(たつの市)

村田 潔氏

脱炭素の新たな商機つかむ

し、液漏れしない「キャンドモーターポンプ」で世界トップシェア。現在は化学工場などでの使用が多いが、「新たな商機」と位置づけるのが脱炭素の潮流だ。例えば「酸化炭素(CO₂)を出さない燃料として活用が期待されるアンモニアは、漏れると爆発を引き起こす危険もある。使用時に密封性や安全性が求められる

ため「実用化が進めば、キャンドモーターポンプの需要は世界中でもっと増える」とみる。「今後、成長の機会に直面する。従業員と目標を共有し、チャンスをしっかりつかみたい」学生時代は陸上部でならし、2003年で全国高校総体に出場。座右の銘は、困難なときこそ真価が問われるとの意味の「疾風に勁草を知る」。(横田良平)



ひよつづ

新社長
2024

むらた・きよし 岡山大経済学部卒。85年太陽神戸銀行(現三井住友銀行)。播州、神戸・大阪、関東に各10年間勤務し、15年帝国電機製作所。総務部長、経営企画部長、取締役などを経て今年6月から現職。茨城県水戸市出身、姫路市在住。62歳。

出典：2024年9月21日 神戸新聞

※当記事は(株)神戸新聞社より許可を得て掲載しております。